

一般質問

今定例会における一般質問は、6月10日・11日の2日間
にわたりに行われ、9人の議員が市政全般に対する諸問題に
ついて市の所信をいただきました。
内容は広範にわたっておりしますので、その要旨を掲載い
たします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)



非認知能力向上と二地域居住、 シティプロモーションについて

飯島 一志 議員



質問 非認知能力とはどの
ような能力が伺います。

答弁 群馬県教育委員会では、失敗を恐れない心や人と関わる力、自分で考え行動する力などを非認知能力と示しています。

質問 非認知教育のこれまでの実績について伺います。

答弁 第四小学校では、琴

を通して地域の高校生や幼稚園児と交流するなどの活動を行いました。そのほかの学校の取り組みとしては、学校運営協議会で熟議を重ね、保護者、地域と連携した防災教育を行いました。ある中学校では、地域クレーン作戦を校区内10ヶ所で、地域住民約90人と一緒に行

飯島 一志 議員 (7ページ)

○非認知能力向上と二地域居住、シティプロモーションについて

権田 昌弘 議員 (8ページ)

○庁舎内の市民対応と市長公約5Cについて

6月10日

岩上 博志 議員 (8ページ)

○健康づくり応援マイレージ事業の現状と今後の取組について

岡野 陽子 議員 (9ページ)

○外国資本の不動産取得と外国人増加について
人口減少・少子高齢化による行政区の今後について

平井 玲子 議員 (9ページ)

○災害対応力の強化について

堀口 きく枝 議員 (10ページ)

○不妊治療及び不育症への支援の取組について

田辺 純子 議員 (10ページ)

○不登校・ひきこもりの現状・解決のための取組について

6月11日

斉藤 貢一 議員 (11ページ)

○子どもを取り巻く環境と対応について

篠木 正明 議員 (11ページ)

○保育園の民営化と認定こども園化について

いました。

質問 教育のDX化についての考えを伺います。

答弁 子どもたちが安易にインターネットで調べるだけで答えを導くことが習慣化してしまうことは、子どもたちの自ら考える力を育成するという点から考えるとは心配です。パソコンについては、授業での活用場面と活用内容の工夫が不可欠です。

質問 教育を含めた二地域居住についての考え方を伺

います。

答弁 本市においては、日本遺産「里沼」をはじめとする自然や歴史文化など、ポテンシャルの高い地域の魅力が多数存在し、子ども

の教育にいい影響を与える環境が整っていると認識しています。これにより、二地域居住を推進する上での強みになると考えています。
質問 今後の取組について伺います。

答弁 関係人口の創出につながる二地域居住に関する

取組を検討し、推進していきたいと考えています。

質問 シティプロモーションの今後の取組について伺います。

答弁 今後、SNSを活用した本格的な情報発信を展開するため、早い段階で動画制作に取り組んでいきたいと考えています。

